

福祉サービス第三者評価結果（総括表）

①第三者評価機関名

一般社団法人いばらき社会福祉サポート

②施設・事業所情報

名称：心羽ナーサリー高場	種別：企業主導型保育事業
代表者氏名：和田 泉	定員（利用人数）： 29 名
所在地：茨城県ひたちなか市高場 1250-1	
TEL：029-212-3400	ホームページ： http://seishin.biz/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成 30 年 4 月	
経営法人・設置法人（法人名等）：社会福祉法人清心福祉会	
職員数	常勤職員： 3 名 非常勤職員： 10 名
専門職員	（専門職の名称） 8 名
施設・設備の概要	（居室数）保育室 2 室、ホール （設備等）給食室、職員室、調乳室、トイレ、子育て支援室

③理念・基本方針

<p>経営理念：和敬清寂～夢と感動からより良い社会を～</p> <p>スローガン：さがしてごらん、ときめきの種</p> <p>VISION, MISSION, PASSION, ACTION ステートメント</p> <p>基本方針：食育・体育・徳育・知育・才育の「五育を基本とし、遊びを通じた楽しい保育」を展開する</p>

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>法人内全園に各種専門委員会を設置し、職員自らが課題・問題を把握し、考え、自ら行動を起こせる体制としている。又、顧問弁護士と提携し、より安心・安全な保育園を目指すべく、職員の意識改革や組織体制を構築できるようコンプライアンス委員会を設置している。法人内の園には、全く違った保育スタイルの園もあり、保育スタイルが違うからこそ学び合い、より進化出来る体制を取っている。</p>
--

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年 10 月 23 日（契約日）～ 令和 2 年 7 月 2 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（平成 29 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

運営理念や保育目標を配慮した中長期計画、各種マニュアル、手順書など必要な書類の整備が整っており、シミュレーション研修などの内部研修が充実している点は高く評価できる。小規模保育園の良さを生かし、家庭的な雰囲気の中、保育士もゆったりと落ち着いて対応でき、一人ひとりの子ども達に十分関わりが持て落ち着いて生活できている。朝の受け入れや帰りの引き渡し時には必ず職員が保護者と接することができ、安心につながっている。保護者の相談にも応じられるよう、スペースやスタッフの体制が整えられている。

◇改善を求められる点

シミュレーション研修など、内部研修は充実しているが、外部研修は若干少ないと感じる。階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の職員の職務や必要とする知識や技術水準に応じた教育・研修の機会を増やし、保育の質の向上につながることを期待する。食器の材質や形の見直しをして、盛り付けや配膳に配慮がされることを期待する。手順書は各部屋に添付されているが、マニュアル等も各保育室に置いてどの職員も必要に応じて見られるよう整備していくことを期待する。正職員 2 名で、早番と遅番を交代で担当しているので、超過勤務や休暇取得が難しい面があるので改善を期待する。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

保育サービスの質の向上を図り、ご家庭にとって安心して子供を預けることが出来る環境を整備することは非常に大切だと考えます。社会は常に変動し、保育園に求められることも少しずつ変わってきています。時代の変化に合わせ進化し続けられる組織が持続可能な経営基盤を構築できると考え、第三者評価を受審させて頂きました。

外部機関である第三者からの視点で評価して頂くことにより、自分たちでは気づきにくい点が明確になったと考えます。また例えばですが、理事長や園長のみが内部で問題提起するよりも第三者評価をツールとして使わせて頂き、職員を巻き込んだ意識改革や組織改革がより一層推進できるものとも考えます。更なる課題が明確になったので、評価結果に基づき職員間で課題を共有し、更なる改善へ向けて取り組みます。

今回、法人内5園が同時に第三者評価受審を行いました。5園中、4園は茨城県の第三者評価機関にお世話になり、1園は東京都の第三者評価機関にお世話になりました。大変恐縮なのですが、第三者評価を受けるものの立場として、何点か意見を述べさせて頂きたいと思えます。茨城県における管理者用の「評価結果と決定に至った理由」は管理者が合議して提出していますが、「a」、「b」、「c」という形式の記載は、非常に混乱をきたします。受審側では、何をもって「a」と「b」と判断すべきなのかが明確ではありません。受審上、分からないこともあるので、項目の全てに丸が付いたとしても厳し目に「b」としました。今回は4園を2チームの調査チームによって評価がなされましたが、同経営にも関わらず、各園の評価が大きく分かれた項目もあります。調査チームの価値観によっては、評価が分かれる項目もあるのではと実感しました。又、調査チームが設問からでは受審者が分かりづらいことを「いかに引き出していくのか」というスキルも重要だと感じます。東京都の場合は、「a」、「b」、「c」というようなランクを付けるような様式にはなっておらず、よりシンプルに記載できます。茨城県の様式は非常に合議しづらく、様式等の変更をご検討頂ければ幸いです。更に良い評価システムとなるよう期待を込め、意見を挙げさせて頂きます。

結びになりますが、今回、素晴らしい機会を頂いたことと評価にあたってご尽力を頂きましたことに心から感謝申し上げます。

⑧評価細目の第三者評価結果（別紙）